



やまた 議会だより

No. 165

2019. 12. 1発行
岩手県山田町議会



シリーズ 家族の笑顔

船越地区在住の五十嵐さん家族。
町への提言、思いを伺いました。
(関連記事P8)

10 月
定例会

台風19号 町内に大きな爪痕-2 P

議員改選 全議員が抱負を語る-4 P

議会構成決定

私たちが広報委員です-6 P

台風19号

大きな爪痕を残す



田の浜地区では中心部が広範囲にわたって冠水



田の浜地区の冠水被害状況



織笠地区では道路が損壊

大型で非常に強い勢力の台風19号が10月12日から13日にかけて岩手県に最接近し、過去に例を見ないような大きな爪痕を本町に残しました。
このたびの台風被害を受けて議会では、10月29日に町内各地区の被害状況調査を行いました。その後、調査結果をまとめ、11月25日に町へ要望書を提出しました。(関連記事7ページ)
台風の被害に遭われた皆さまに心よりお見舞い申し上げます。



関口地区では斜面が崩壊



大浦地区では道路が損壊



荒川地区では道路の法面が崩壊



福土地区では道路が損壊



長内地区では河川が氾濫し道路が損壊

このたびの台風19号で
被災された皆さまに心より
お見舞い申し上げます。
山田町議会

初議会開催

議長に昆暉雄議員 副議長に阿部幸一議員

任 期満了に伴う山田町議会議員選挙が9月8日に執行され、14人の議員が当選しました。9月20日には初議会（第2回臨時会）が開催され、正副議長、各委員会の構成などを決定しました。全議員の抱負を紹介します。

— 私たちが山田町議会議員です —

町の復興完遂に向けて協力していきたい。人口減少、高齢化問題、また漁業の不振など大きな課題もある。子どもたちが将来山田に住んで良かったと感じられる町を目指し、一議員としてしっかりと町民の負託に応えたい。



議席13番
あべ こういち
阿部 幸一 副議長
(新 生 会)

来年、令和2年4月には山田町の小学校が9校から3校になる。統合により小学校にいた地域の子どもたちがいなくなる。地域に子どもたちがいなくなつた空間をどのようにして元に戻すことができるのか考えてまいりたい。



議席14番
こん てるお
昆 暉雄 議長
(政 和 会)

議員6期目となります。その間、東日本大震災と今回の台風19号が衝撃的な出来事でありました。これまでも、町のため議員としていかに行動すべきか、微力ながらも日々精進してまいりました。今後もこれまでに以上に頑張ることを誓います。



議席3番
きっかわ としこ
吉川 淑子 議員
(無 所 属)

私は、安全・安心で活力あふれる住みよい山田町を目指し、復興完遂に向け、さらに頑張ります。これからもオランダ島の復旧や山田祭りなど観光事業に全力で取り組んでまいります。



議席2番
あべ よしえ
阿部 吉衛 議員
(新 生 会)

町民の皆さまの応援をいただき初当選になりました。私は、人と人との絆が感じられるコンパクトシティを目指して、皆さまの声を町政へつなぐパイプ役となり、一生懸命、山田町のために尽くしてまいります。



議席1番
こん きよし
昆 清 議員
(新 生 会)



議席4番
とよまね まこと
豊間根 信 議員
(政 和 会)

復 旧から復興へ、そしてその先に希望が見える。そのようなまちづくりをしつかりとしたビジョンと思いを持って、現実を直視し「勇気・情熱・実行」を胸に、安全・安心なまちづくりへ町民の皆さまと共に歩んでいきます。



議席5番
きくち こうめい
菊地 光明 議員
(新 生 会)

今 回の改選により、町民各位の信任を受け、2期目の議員活動に入ることになりました。これからの任期は東日本大震災からの復興完遂と台風19号被害からの復興に向けて奮闘する覚悟です。



議席6番
くろさわ かずなり
黒沢 一成 議員
(無 所 属)

十 年ほどの間に想定外が続いている。今まで以上に将来を見据え、責任感を持って、一つ一つの課題を考えることが要求される。ただ、住みよいまちづくりの基本となるのはモラル(道徳・倫理観)であると考えている。



議席7番
さとう かつのり
佐藤 克典 議員
(政 和 会)

台 風19号の被害に遭われた皆さまに対し心よりお見舞い申し上げます。地域産業のさらなる推進、住環境の整備、子育て支援、高齢者・障害者福祉の充実を図り、町民の誰もが安心して暮らせるまちづくりに力を注いでいきます。



議席8番
やまざき やすまさ
山崎 泰昌 議員
(政 和 会)

議 員として培ってきた提言力と実現力で「漁業所得の向上」、「観光資源の整備と活用」、「細やかな子育て支援」、「労働人口の充実」を継続的に進めていき、人口減少に歯止めをかけ、町の発展に寄与していく。



議席9番
きむら ようこ
木村 洋子 議員
(日 本 共 産 党)

あ の大震災から8年。復旧から復興へ被災者の暮らしを最優先で頑張らせていただきました。町の元気を取り戻すため、皆さま方のお力添えをさらにお願います。町民の命と暮らし、平和を守る政治をさらに広げてまいります。



議席10番
せき きよたか
関 清貴 議員
(政 和 会)

台 風19号の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。災害に強い、安全・安心に暮らせるまちづくりに努めるとともに町民の方々の声に耳を傾け、未来ある山田町をつくるために一生懸命に頑張っております。



議席11番
よこた たつひさ
横田 龍寿 議員
(政 和 会)

園 芸の活用、農林漁業の連携、防災を訴え立候補し、皆さまのお力で議員となることができました。これらに全力で取り組むのはもちろんのこと、一番年下ですので周りの議員の皆さまへ良い刺激を与えられるよう努めてまいります。



議席12番
さかもと ただし
坂本 正 議員
(新 生 会)

今 後4年間の任期中は山田町の将来を見据えた観光開発が重要と考えています。特に、船越公園の再開発と周辺地域である入江田沼の開発に力を入れていきたい。

4年間頑張りますー各委員会の構成ー

■議会運営委員会

議会の会期や日程の調整、議会運営がスムーズに進むよう調整を行います。

◎阿部吉衛、○黒沢一成、山崎泰昌、佐藤克典、坂本 正、阿部幸一

■総務教育常任委員会

総務課、財政課、復興企画課、税務課、町民課、消防防災課および教育委員会の所管に関する事務ならびに産業建設民生常任委員会の所管に属さない事項について調査を行います。

◎関 清貴、○豊間根 信、吉川淑子、黒沢一成、山崎泰昌、木村洋子、阿部幸一

■産業建設民生常任委員会

農林課、水産商工課、長寿福祉課、健康子ども課、建設課、建築住宅課および上下水道課の所管に関する事務について調査を行います。

◎菊地光明、○佐藤克典、昆 清、阿部吉衛、横田龍寿、坂本 正

■議会広報編集特別委員会

やまだ議会だよりの編集を行います。

◎菊地光明、○昆 清、阿部吉衛
豊間根 信、横田龍寿、阿部幸一

新しい議会広報編集特別委員が決まりました。皆さんに分かりやすい議会広報作りを心掛け、議会を身近に感じてもらえるように頑張ります。

※ ◎は委員長、○は副委員長をあらわしています。



私たちが広報委員です。

10月 定例会のあらまし

令 和元年第3回定例会は、通常であれば9月に開かれるところですが、今年10月に開かれます。

今 回の定例会は、本町を襲った台風19号被害からの早期復旧のため、日程を大幅に縮減し、10月25日に1日限りで開催しました。

町 長提案の議案11件を審議し、全て原案のとおり可決しました。

な お、一般質問については日程の都合上、今回の定例会では行わず次回定例会で行うこととしました。

【主な議案】

■令和元年度一般会計補正予算（第2号）

▽補正額

5億6178万円増額

▽補正後金額

141億231万円

■監査委員の選任同意

議会選出の監査委員に佐藤克典議員の選任について同意しました。佐藤議員は初の選任となります。

（賛成12票、反対0票で原案同意）



佐藤 克典 議員

議会活動レポート

台風19号被害 町へ要望書を提出

総務教育常任委員会
産業建設民生常任委員会

■要望事項

- 1. 避難所設置基準について**
安全に運営できなかった避難所（消防団第2分団屯所）があったことから、避難所設置の基準を明確化し、安全な運営ができるように整備していただきたい。
- 2. 被災者の再建計画について**
被災者に十分な聞き取りを行い、個々の再建計画を確認していただきたい。その上で、東日本大震災の復興事業で整備した高台団地等への移転など、別な場所での再建希望者に対して希望に沿うことができるように国、県に要望していただきたい。
- 3. 支援制度について**
町独自の支援制度の基準を確立し、早急に対応できるようにしていただきたい。
- 4. 三陸鉄道について**
三陸鉄道は住民の足としての役割だけでなく、観光面でも欠かすことができない。被災した箇所においては鉄道橋方式にするなどの提案を行い、地元自治体や事業者負担が生じないよう財政措置の

去る10月29日、総務教育常任委員会（関清貴委員長）と産業建設民生常任委員会（菊地光明委員長）が、台風19号に関する町内の被害状況調査を行いました。その後、調査結果をまとめ11月25日に町へ要望書を提出しました。

- 5. 町税等の減免について**
被災者の固定資産税、国民健康保険税ならびに町県民税（住民税）等の減免が図られるように検討していただきたい。
- 6. 消費税について**
東日本大震災で被災した後に建物を新築し、今回の台風19号により再度被災した方が建物を新築・補修する場合、消費税の減免が受けられるように国に要望していただきたい。
- 7. 土石流被害、河川崩壊被害等について**
専門家による被害の検証を速やかにを行い、復旧方針等については検証結果をもとに十分な検討を重ねた上で決定していただきたい。
- 8. 災害復旧事業について**
従来の原形復旧によるものではなく、施設の機能強化のため改良復旧の手法により事業を進めることができるように国、県に要望していただきたい。また、今後は50年確率降雨以上で設計するような

- 9. 被災した個人所有地について**
土砂が流入するなどの被害があった個人の宅地、田、畑について、土砂の除去をはじめとする復旧の支援を検討していただきたい。また、復旧にあたっては役場内での連携をしっかりとした上で早急に行っていただきたい。
- 10. 農林水産業、観光業について**
被害を受けた農林水産業をはじめ観光業の早期再開に向けて復旧に努めていただきたい。
- 11. 公共料金の減免について**
被災者の上下水道料金の減免が図られるように検討していただきたい。また、電気料金の減免が図られるように関係機関へ要望していただきたい。



台風19号被害に関し要望書を提出

議会を傍聴しませんか

次の定例会は**12月16日（月）から12月24日（火）**に開催される予定です。お気軽にお越しください。

山田町議会の定例会は、3月、6月、9月、12月の年間4回、役場5階の議場で開催されています。

一般質問や議案審議などを通じて、町の課題や将来の方向が見えてきます。議会を傍聴してみませんか。

傍聴の手続きは、傍聴人受付票に住所、氏名を記入するだけの簡単なものです。

詳しい議事日程等については、町ホームページで確認できます。また、定例会の直前には議員自らが町なかにポスターを掲示していますので、ごらんください。

不明な点については、議会事務局（電話0193-82-3111 内線511）へお問い合わせください。

みんなの「声」

Vol. 10



船越地区在住の五十嵐さん家族

左から
めくみさん
なつみちゃん（6歳・長女）
正（ただし）さん
灯（あかし）くん（2歳・長男）

町民の皆さまからの町への提言、思いなどを紹介します。表紙（1ページ）に登場いただいた家族に話を聞きました。

災害に強いまちづくりを！

—町の良いところは

漁業を中心にスポーツなど生涯学習に力をいれているところです。

—町に望むことは

自然環境を大事に守り、災害に強いまちづくりをしてほしいです。

—子どもたちに望むことは

健康に育ってくれればと思います。

「学校統合と夏の日の思い出」

大川 洋三 さん
(大沢・77歳)

今大沢は大きな転換期を迎えようとしている。東日本大震災以前は全く予想しなかった問題を震災後、関係者は幾度となく協議してきたことだろう。被災者の移住等による人口減少、校舎の老朽化、あらゆる面を考えたのだろう。平成30年11月26日の住民説明会で統合が決定した。学校創立以来144年多くの卒業生を送り出したわが母校大沢小学校も少子高齢化という厳しい現実重い決断だったのだろう。令和2年新学期から新しい学校としてスタートする。当然、通学はスクールバスだろう。歩いて通学する子どもたちの元気な挨拶は本当に心地よい。私はそんな子どもたちと話をするのが楽しみであった。普段の生活の中で、子どもたちと触れ合い、楽しい時間を過ごした小さなドラマを紹介したい。

私はウニの口開け日を楽しみにしている浜人の一人である。ある日、妻と二人漁協の荷捌き所でウニむきをしていると外が騒々しい。見ると小学校の児童たちが先生に引率され荷捌き所に入ってきた。どうやら写生会らしい。先生の挨拶のあと、各自好きな場所で絵を描き始めた。そのうち何人かがウニむきをしている私のところにやってきた。そっちこっちがにぎやかになった。先生が「ウニですわね」と言うと、子どもたちが「カゼ」、「ボウズカゼもいる」、「ヒトデやカニもいる」と絵を描くのはそっちのけでにぎやかになった。私もつい「これは老人とウニです」と口から出た。すると先生が「お父さんうまい」と言って拍手をした。子どもたちは何のことかわからぬまま、先生の「始めましょう」の声で絵を描き始めた。しばらくして、終了の間際だろうか、子どもたちは先生の前に集まっていた。私の作業も終わり、片付けをしていると先生が来て「児童たちに何か話をしてくれませんか」と言ってきた。私は快く受け、少しばかり「海とウニ」について話をした。子どもたちは真剣に聞いてくれた。そして「終わります」と言うと、子どもたちは大きな声で「ありがとう、ございました」と言って荷捌き所を後にした。その後ろ姿を見ていると、つい「いい童がどうだ」と口から出て、少し目頭が熱くなった。私の生活の一部であるウニの口開け日に子どもたちと触れ合ったわずかな時間が心温まる大きな贈り物してくれた。これから先あのかのようにな触れ合いがあるのだろうかと思うと少し寂しさを感じている。そんなことを考えるのは私だけだろうか。

町民の方から投稿をいただきましたので、紹介させていただきます。

あとかき

▼9月の改選において、町民の皆さま方から負託を受けた議員14名は、初の定例会において、今後の町政運営について活発な議論を待ち望んでいた折、これまで経験したことのない台風19号が本町を襲いました。ここに被災した方々に心よりお見舞い申し上げます。復旧・復興に向けて議会も皆さんに寄り添いながら積極的な復旧・復興方針を提言してまいります。▼さて、新たに任命された我々、議会広報編集特別委員会も皆さんに親しまれるような議会広報作りを目指して町内外を取材等として頑張りますので、投稿や意見、町内外で問題となっていることなどを積極的に提案してください。よろしくお願ひします。(菊地)

発行責任者

議長 昆 暉 雄

議会広報編集特別委員会

委員長 菊 地 光 明
副委員長 阿 横 豊 岡 部 吉 清
委員 阿 横 豊 岡 部 吉 清
委員 阿 横 豊 岡 部 吉 清

阿 横 豊 岡 部 吉 清
部 田 根 龍 吉 清
幸 龍 一 寿 信 衛 清